

# いきいき男女共同参画

## 議員経験から見たもの

### 初的女性議員として

あなたと私の共同参画講座最終回は、前市議会議員の坂原シモさんを講師に開催しました。要旨は次のとおりです。



△今までの思いを語る坂原さん

農村女性を中心としたグループの皆さんに支えられ、選挙に出たこと、男性からもこれからは女性の時代だから応援すると言われたこと。初めての一般質問では、当時ガラス瓶の回収は、ラベル

をはがさないで持つていってくれなかった、ラベルをはがすのにみんな苦労していることを質問したところ、周りの男の人から「あー、それそんなに大変だったんかえ」という声があつた。12月の議会で質問したことが、3月には業者を見つけてくれて、ガラス瓶のラベルを貼ったまま出すことが出来たこと。けれど、市民の中には「おめなんぞそんなちっぽけな、くだらないことばっかり言ってるんだ」という嫌味も言われました。だけども小さなことでも取り組んでいくうち、実を結んでいきました。

この12年で変わったこともありました。「農のまつり」を見ても、昔だったら女性職員が調理室のお手伝いをしたのですが、今は若い男性職員が、洗いや物したり、ごみの分別をしたり率先してやっています。若い皆さんの中には、もう男女共同参画と言わなくても自然にやっている気がします。男女共同参画を学んでいる皆さんが、それぞれが認めあい、支えあいをして、未来に向けて大きな一歩を踏み出してほしいと話されました。



©段丹映子 無断転用を禁ず  
あなたの好きな色は何色ですか。あなたは好きな色が選ぶことができますか。

### 女性の政策・方針決定過程への参画状況

内閣府・長野県では毎年、政治、行政など様々な分野における女性の政策・方針決定過程への参画状況等について、直近のデータを収集し、取りまとめています。

◆国の各分野における主な状況

国会議員（衆議院）	10.9%
国会議員（参議院）	18.6%
大臣	11.1%
国の審議会等委員	33.8%

◆飯山市の状況は…

平成23年4月1日現在	
市議会議員	12.5%
市審議会委員	27.1%
農業委員	22.2%
教育委員	60.0%
民生児童委員	44.3%
自治会長（区長）	0.9%

◆長野県における状況…

◇県議会における女性議員の状況…平成22年12月現在、議員総数58名に対し10名で、女性比率17.2%（全国2位）長野県の市町村議会では13.1%です。

◇審議会等における女性委員の状況…平成23年4月1日現在、県の委員総数938人のうち女性委員は254人で、女性比率は27.1%です。

飯山市でも公職における女性の参画率が30%に達成するよう努めるという目標が設定されています。数値にとらわれることなく、男性も女性も共に地域を支え、政策や方針の決定にも参画できる社会になるよう推進する必要があります。



## よみがえる古布たちく飯山流るるし雛

### 一針一針に幸せへの願いをこめて

利用団体紹介

#### 【雛の会】

【作品の喜びを味わう】

グループ設立から今年で7年目を迎える『雛の会』（保坂美佐子代表）30名の会員が月1回集い、指導者の堀川とし枝先生を中心に2名の指導を受けながら作品づくりに取り組んでいきます。4月からは2グループに分かれて活動します。古布を使い一つの和飾りに、桃・梅花・鶴・亀など35個位の小物を一針一針、わが子の健やかな成長・幸せへの願いを込め縫い上げ打ち紐で吊るします。

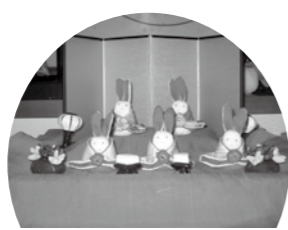
【子や孫の分身】

輪飾りが出来上がったときは、自分の子や孫の分身のように思われて愛しくなり、そつと語りたくなりま

す。今年もたくさんのおみなさま方のご協力により、いやま雪まつりから飯山城下町ひな街道で作品の展示、講習会、販売などを行いました。また、ふるさと館を会場に、2月18日より3月25日まで、江戸時代から現

代までのさまざまひな人形の展示の中に、私たちの作品を展示させていただいています。雛の会ではいつも仲間と手を動かし、話しをしながから楽しく活動しています。新幹線の開業につき、多くのおみなさまが飯山へ来て良かったと思える活動をしていきたいと思っています。

▽かわいらしいうさぎ雛



▷野菜たちもつるし雛に

## 地域のためにちょっとした力を～ 保育サービス講習会開催！

2月10日から、3月1日までの5日間、地域で託児サービスを行なうための人材を養成するための講習会「保育サービス講習会」を開講しました。

講習では保育をする時の心構え、また子どもの身体の発達、心の発達とその問題など講義が行われ、実習ではしりやま保育園での保育実習や、子育て支援センターでの親子との関わり、救命救急の実習、調理実習などが行われ、受講生7名全員が修了証を授与されました。今後の地域での活躍が期待されます。

受講生からは・・・

- ・昔の子育てと変わらないこともあったり、時代と共に大きく変わってきている価値観や実状に驚いたり、納得したりでき大変勉強になりました。
- ・子どもを預かる事を、簡単に考えていたが、受講してみて、実際に子どもを預った時に1人では大変と感じ、グループであればできるかなと感じました。
- ・第3回目の「心の発達とその問題」は、子どもだけでなく、成人、高齢者にも通じ個人個人の尊重が、今のスピード社会の中、もっともっとクローズアップされ誰もが気持ちよく生活する社会（地域）が大事だと感じました。
- ・もっとこの講習会を年令男女別問わずたくさんの方に知っていただき、学んでいただきたいと感じました。

▷子育て支援センターで



▷もしもの時のために

## 今まで築き上げてきた女性の力を～ 第2回女性センター未来運営委員会開催

2月24日に、識見を有する者、利用者団体連絡会、公募による者等で構成される女性センター未来運営委員の皆さんにお集まりいただき、運営委員会を開催しました。協議事項では、平成23年度事業実績、平成24年度事業計画等が説明され、委員からは、かつては「働く婦人の家」として、女性団体を中心とした取り組みがあり、この館の事業などを通じ働きやすい女性の立場を築いてきた経過がある。これからは未来にむけてこの館の目的に沿った事業運営をしてほしいなど活発な意見交換がおこなわれました。